

平成27年度 農と環境を活かしたまちづくり

第1回 黒川地域連携協議会

平成27年8月4日（火）

平成27年度 農と環境を活かしたまちづくり

第1回 黒川地域連携協議会

1. 「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項 3
2. H26の試行的取り組み事項（全体）..... 12
3. H26の試行的取り組み概要（各専門部会）..... 20
4. 第1回専門部会概要とH27取り組み事項(案) 28
5. 今後の予定 37

1. 「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項

1-1. はじめに	4
1-2. 対象地	5
1-3. 地域資源	6
1-4. 地域が抱える主な課題	7
1-5. まちづくりの目標	8
1-6. まちづくりの推進体制	9
1-7. 実施方針	10
1-8. まちづくりの基本的な進め方	11

1-1. はじめに

黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり とは

黒川地区の豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す良好な環境を舞台に、黒川地区を支える様々な担い手が連携し、多様な取り組みや交流を通して、地域の課題を解決しながら、持続的な環境の保全や地域の活性化につなげていく試みです。

- 平成26年度では、農と環境を活かしたまちづくりの方向性、道筋、具体的な取り組み等について、基本計画としてとりまとめました。
- 各関係者が共有できる実施計画を作成し、本格的な活動につなげていくため、今年度は、様々な取り組みを具体的に試行しながら、評価を行い、課題解決の糸口やまちづくりの道筋を見定めていきます。

1-2. 対象地



1-3. 地域資源

農業資源



豊かな農地



良質な地元農産物



セレサモス



体験農園・観光農園



農業情報センター



農作物の活用（料理教室）

環境資源



里地里山景観



特別緑地保全地区



散策路



豊かな動植物



汁守神社



黒川青少年野外活動センター

黒川地区の良好な里地里山の環境・景観を支える **人的資源**

農業者

保安全管理団体

大学

ボランティア

市民

1-4. 地域が抱える主な課題

農が抱える課題

- 都市農地の保全
- 農家・農業後継者の減少
- 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上
- 来訪者等のマナー向上

etc.

緑が抱える課題

- 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保
- 生物多様性の保全、環境学習環境の確保
- 農業施策と緑地保全施策の連携

etc.

地域が抱える課題

- 地域の活性化と増加する来訪者への対応
- 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

etc.

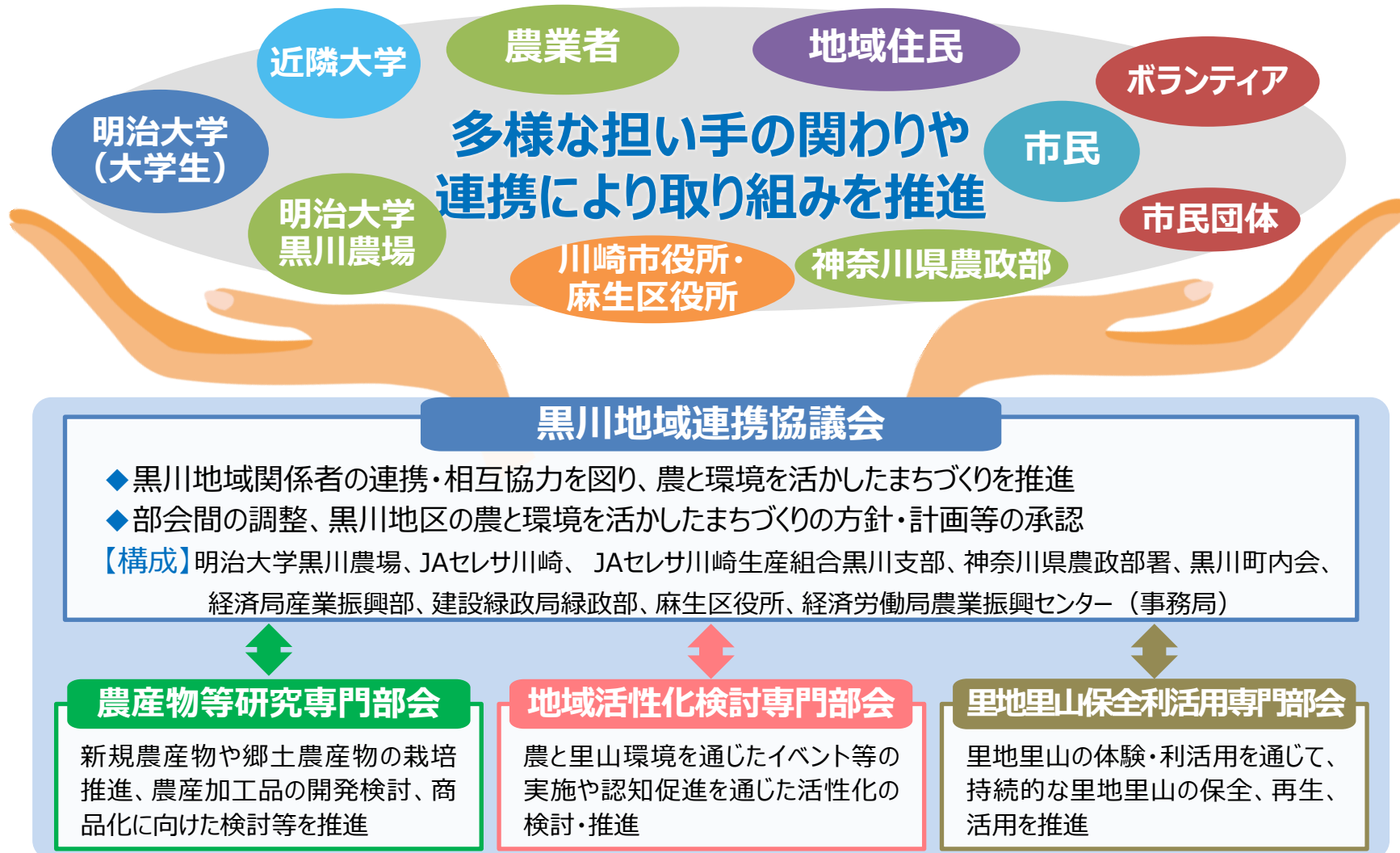


地域課題を解決しつつ、地域の交流・活性化、持続可能な環境保全へ

1-5. まちづくりの目標



1-6. まちづくりの推進体制



1-7. 実施方針

実施方針

地元農産物の販売促進と
加工品の開発

農や里地里山を体感する
イベントの実施・PR

里山の保全管理や活用の
推進

実施体制と役割

農産物等研究専門部会

農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

- ①新規農産物や郷土作物の栽培推進
- ②農産加工品の検討開発
- ③農産物等のイベント活用やPRの推進

地域活性化検討専門部会

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

- ①農と里山の認知促進
- ②農と里山の体感
- ③地域資源の発見・創造・育成

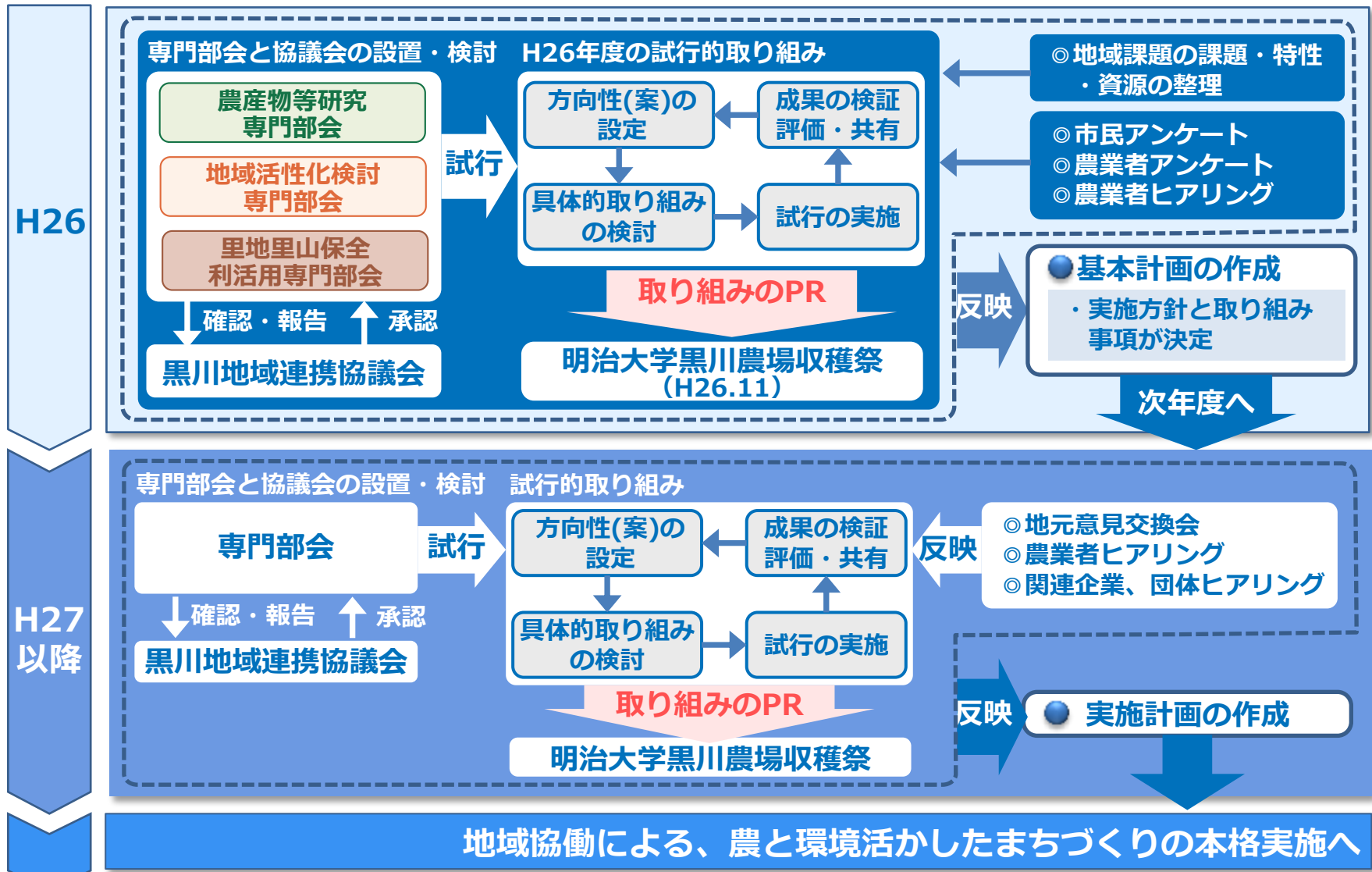
里地里山保全利活用専門部会

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。

- ①里地里山の体験・利活用
- ②里地里山の保全管理

1 「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項

1-8. まちづくりの基本的な進め方



2. 平成26年度の試行的取り組み事項 (全体)

2-1.	平成26年度の主な取り組み事項.....	13
2-2.	「農と環境を活かしたまちづくり」基本計画	18
2-3.	「農と環境を活かしたまちづくり」実施方針	19

2-1. 平成26年度の主な取り組み事項

（1）推進体制の構築

（2）基礎的情報（現状と課題）の共有

（参考1） 黒川地区の基本情報MAPの作成

（3）関係者への理解の推進

（参考2） 農と環境の情報ホームページ作成

（参考3） 地元説明会と意見交換会の実施

（参考4） 明治大学黒川農場収穫祭でのまちづくりPR

・ 市民ニーズ把握のためのアンケートの実施

（4）基本計画・実施方針の作成

(参考1) 黒川地区の基本情報MAPの作成

多様な情報（地域の魅力、地域の活動、主な生産物、問題点、地域の催し等）を抽出し、
地図上に情報を集約化

● 流れ

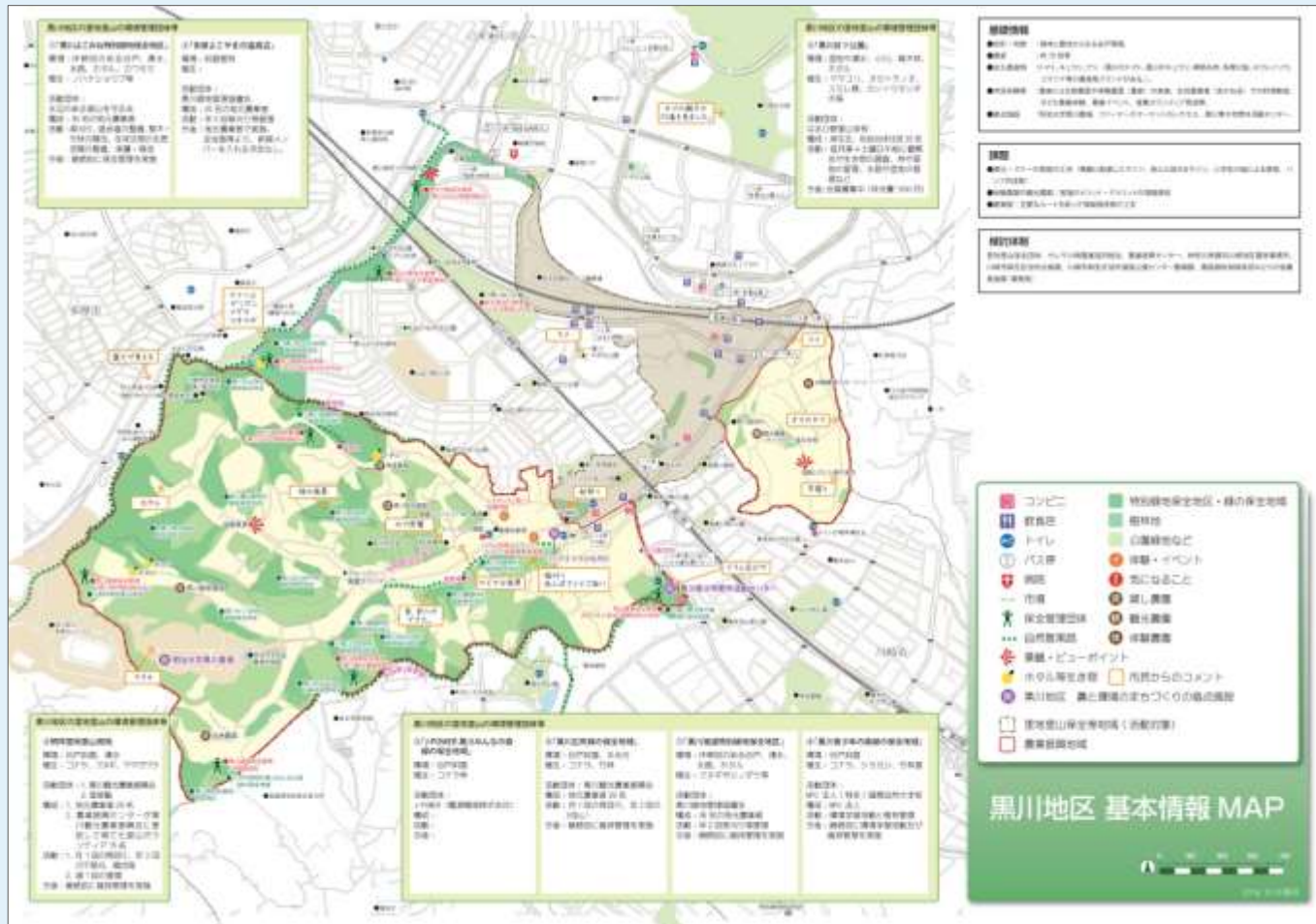
第1回 専門部会での
ワークショップ

地元町会、農業者への
ヒアリング

地元（農業者）の方の
ガイドにより現地視察
による情報の共有化

緑の保安全管理団体等の
把握

市民参加型
「黒川マップ作り」
の実施



（参考2）農と環境の情報ホームページ作成

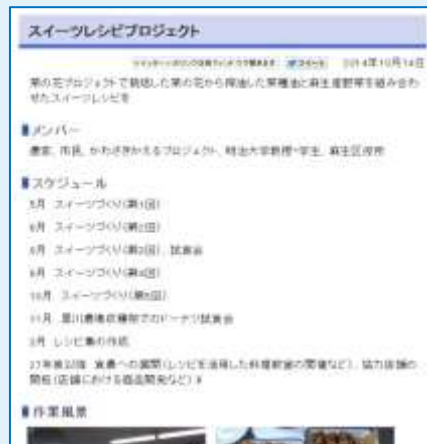
農と環境のまちづくりに関する取り組みや今後のイベント等を情報発信するホームページを作成しました。



ホームページ画面



イベント・ボランティア



スイーツレシピプロジェクト



菜の花プロジェクト

（参考3）地元説明会と意見交換会の実施

日 程：平成26年12月18日、平成27年3月6日、（平成27年5月29日）

出席者：セレサ川崎農業協同組合、生産組合黒川支部、黒川町会、黒川営農団地管理組合、黒川観光農業振興会、黒川はるひ野管理組合、明治大学、川崎市

地元からの主な意見

地元への説明を積極的に行ってほしい。

草刈り等のボランティア活動については、協力したい。

明治大学に積極的に地元との関わりを持ってもらい、様々な取り組みについて連携していきたい。

協議会や専門部会へ、農業者や地域の方の参加を増やしてほしい。

菜の花プロジェクトは、もう少し範囲を広げて植えたほうがもっと良くなるのではないかな。

地元の人だけで話し合う場を作りたい。

もう少し継続して話し合いを続けてほしい。

（参考4） 明治大学黒川農場収穫祭でのまちづくりPR



パネル展示



市民参加型黒川マップづくり



スライドショー



市民アンケート

2-2. 「農と環境を活かしたまちづくり」基本計画

黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり 基本計画 H27. 2



目的

川崎市麻生区黒川地区は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域となっています。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域にしていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

■黒川地区が抱える課題

農が抱える課題

- 都市農地の保全
- 農家・農業従事者の減少
- 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上
- 来訪者等のマナーの向上

緑が抱える課題

- 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保
- 生物多様性の保全、環境学習情報の確保
- 農業施設と緑地保全施設の連携

地域が抱える課題

- 地域活性化と増加する来訪者への対応
- 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

実施方針と目標

多様な担い手からなる「黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全利活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試し、検証の上、継続的に実施していく取り組み内容を検討していきます。



取り組み事項

平成 27 年度は、農家の方や地元の方等へのご理解を進めていくとともに、地域の理解協力上で、様々な取り組みを試行していきます。そして取り組みの試行とその検証をふまえながら、今後の実施計画を作成につなげていきます。

H27 年度 取り組み事項

○基本的な進め方

- 農家の方や地元の方へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化
多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めています。

●試行する取り組み内容の検討

黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、様々な立場の方の意見を取り入れながら、今年度試行する具体的な取り組み内容の検討を進めていきます。

●取り組みの試行と検証

検討した様々な取り組みを試行し、課題解決の糸口を見つけながら、継続的な実施に向けた検証等を行います。

○具体的な取り組み例

農産物等研究専門部会

- 農土作物の栽培研修
- 加工品開発講座
- 農家と大学の連携強化
- 産品の配布

地域活性化検討専門部会

- 食農イベント、農産体験の実施
- ホームページコンテンツの充実
- 農の広報プロジェクトの拡大
- 農産物を用いたスイーツシズプリ
- 和光大学との連携によるサイン設置

里地里山保全利活用専門部会

- 散策イベント実施
- 散策マップ作成
- 活動団体の P.R 支援
- マナーアップの検討

○明治大学黒川農場の収穫祭との連携した取り組みの実施（平成 27 年 11 月を想定）

取り組みの試行を効果的に実施するために、集客力のある収穫祭と連携し、ある程度の取り組みを集中させることで、実施効果を最大限に発揮させることを検討しています。

実施した実感を高める

集客、市民の反応、担い手の達成感

取り組みながら PR する

集客、市民の反応、マナーアップ

多様なチャレンジをする

新たな可能性、新規顧客、多様な連携

行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、
地域が一体となって、地域に根付く文化を育てていける
黒川地区 農と環境を生かしたまちづくり 実施計画の策定へ

2-3. 「農と環境を活かしたまちづくり」実施方針

実施方針	実施体制	具体的取り組み	
		取り組み事項	実施内容(案)
地元農産物の販売促進と加工品の開発	農産物等研究専門部会 農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。	①新規農産物や郷土農産物栽培の推進	・継続的な研究と栽培の試行 ・栽培マニュアル、試食会等による農家への普及
		②農産加工品の開発検討	・農産加工品の検討・試行、商品開発 ・ブランド化の検討や試食会の実施
		③農産物等のイベント活用やPRの推進	・地域活性化検討専門部会との連携イベントの実施 ・黒川産の農産物や加工品のPR
農や里地里山を体感するイベントの実施・PR	地域活性化検討専門部会 農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。	①農と里山の認知促進	・HPを活用した取り組み紹介とイベント等PR ・他イベントと連携したまちづくり活動のPR
		②農と里山の体感	・農や里山を体感できるイベントの実施（食育イベント・グリーンツーリズム、農業体験、散策イベント） ・農と環境を学ぶ講座の開催
		③地域資源の発見・創造	・地場産物を活用したレシピ研究 ・農産物等研究専門部会と連携した商品開発
里山の保全管理や活用の推進	里地里山保全活用専門部会 多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。	①里地里山の体験・利活用	・里山体験イベントの実施 ・里山の利活用の検討
		②里地里山の保全管理	・里山保全活動団体の活動支援 ・里山保全方策の検討
	三部会共通	①市民や地元等の意向の把握	・イベント等での市民アンケート等の実施 ・地元農家等へのヒアリングの実施
②大学・地域連携		・大学や地元農業者と各種取り組みでの連携推進	
③連携イベントの開催		・地元農家、緑の活動団体、地元住民、大学等との連携 ・地元農家や明治大学収穫祭やJAセレサ農業祭り(柿生支店)等との連携	

3. 各専門部会の平成26年度の取り組み概要

- 3-1. 農産物等研究専門部会..... 21
- 3-2. 地域活性化専門部会 23
- 3-3. 里地里山利活用専門部会 27

3-1. 農産物研究専門部会の取り組み概要

(1) 農産物等研究専門部会の目的

将来、農畜産物、林産物及びその他の加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

(2) 取り組み方針と平成26年度の実施施策

取組みの方向性	平成26年度の実施事項
新規農産物や加工品の開発検討	1) 新規農産物や郷土作物の試行栽培
農産物のイベントでの活用やPRの推進	2) 収穫祭での黒川野菜のPR - 1 農作物の販売 - 2 黒川野菜を使った料理の配布
農産物を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	3) 大学と連携した商品開発 - 1 味噌づくり - 2 テンペづくり
	(4) 地元農業従事者との意見交換会

3-1. 農産物研究専門部会の取り組み概要

1) 新規農産物や郷土作物の栽培



シカクマメ



岩ちゃん豆



ハッシュウマメ



のらぼう菜

2) 収穫祭での黒川野菜のPR

黒川で採れた農作物・
加工品の販売



黒川野菜を使った
料理の配布



3) 大学と連携した商品開発

シカクマメを
使った味噌



テンペ作り

3-2. 地域活性化検討専門部会の取り組み概要

(1) 地域活性化専門部会の目的

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

(2) 取り組み方針と平成26年度の実施施策

取組みの方向性	平成26年度の実施事項
農と里山の体感	1) バスツアー
	2) 食農イベント
	3) 農業体験
地域資源の発掘・創造・発信	4) 農と環境の情報ホームページ作成
地域・大学・行政との協働	5) 菜の花プロジェクト
	6) スイーツレシピづくり
	7) (仮称) コミュニティ農園ワークショップ

3-2. 地域活性化検討専門部会の取り組み概要

1) バスツアー



2) 食農イベント

ダンボール
コンポスト講習会親子エコ
クッキング明治大学黒川農場
と連携した
グリーンツーリズム

3) 農業体験

明治大学黒川農場での
農業体験・食農体験
イベントの試行実施[参考]麻生区王禅寺ふ
れあい公園
「野菜の直売会等」4) 農と環境の
情報ホーム
ページ作成

イベント・
ボランティア
菜の花
プロジェクト
スイーツレシピ
プロジェクト
など



3-2. 地域活性化検討専門部会の取り組み概要

5) 菜の花プロジェクト



6) スイーツレシピづくり



7) (仮称) コミュニティ農園ワークショップ



3-3. 里地里山保全利活用専門部会の取り組み概要

(1) 里地里山保全利活用専門部会の目的

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、保全・再生・活用を目指す。

(2) 取り組み方針と平成26年度の実施施策

取り組みの方向性	平成26年度の実施事項
里地里山の認知促進 里地里山保全管理体験の推進	1) 取り組みの前提として情報一元化
里地里山を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	2) 里地里山の認知促進、保全管理体験、大学連携の一体的取り組み

3-3. 里地里山保全利活用専門部会の取り組み概要

1) 取り組みの前提として情報一元化

2) 里地里山の認知促進、
保全管理体験、大学
連携の一体的取り組み明治大学収穫祭連携企画
「親子で楽しむ里山体験ツアー」

4. 第1回各専門部会の概要と 平成27年度の取り組み事項

- 4-1. 取り組みの基本的考え方 29
- 4-2. 農産物等研究専門部会..... 30
- 4-3. 地域活性化検討専門部会 32
- 4-4. 里地里山保全利活用専門部会 34
- 4-5. 効果的な実施に向けて..... 36

4-1. 取り組みの基本的考え方

農と環境を活かしたまちづくりを進めていくため、今年度は関係する様々な皆さんと課題や方向性を共有した上で、試行的取り組みを推進します。

● 農家の方や地元の方等へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化

多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めていきます。

● 多様な担い手の連携による試行的取り組みの推進

黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、ちょっとできそうなもの、やってみたいことなどを、まずはできる範囲で試してみながら、具体的な取り組み内容を決めていきます。

課題解決の糸口を見つけながら様々な取り組みを**試行**

● 試行による取り組みをくり返しながら

「農と環境を活かしたまちづくり」の実施計画につなげていく

4-2. 農産物等研究専門部会

（1）第1回専門部会での主な意見等（7月13日開催）

今年度の主な取り組み（案）に対する主な意見

①新規農産物や郷土農産物栽培の推進

- ・昨年度からの本取り組みは、今年度も継続していきたいと考えている（事務局）。
- ・珍しい品種は黒川地域の環境に適応しないなど作るのが難しい。
- ・売れる物や需要のある物を作ったほうが良いと思う。
- ・大学で研究している新しい手法や黒川地域に適した栽培方法などを教えてほしい。

②農産加工品の開発検討

- ・女性農業者と意見交換会などを開きながら加工品の検討を進めていきたい。（事務局）
- ・「黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）」で農産加工品の講座を2回開催するので、ふるさと生活技術指導士の黒川地区の方に講師をお願いしたい。（事務局）

③農産物等のイベント活用やPRの推進

- ・収穫祭で大学の野菜と一緒に地元野菜も販売する案が地域活性化専門部会ででている（事務局）
- ・販売するなら午後からではなく大学の野菜と一緒に朝から販売したい。
- ・明大と農家が連携して販売品種を検討したり、一緒につくるのも良いと思う。

その他の 主な意見


◎明治大学黒川農場と地元の方の交流について

- ・黒川農場には、どのような専門の先生がいるのか、何を研究しているのかわからない。
→地元の方を対象に大学構内の見学会を開催し、研究内容や研究施設などの紹介、意見交換の機会を設ける方向で検討していく。（事務局）

4 平成27年度の取り組み事項（案）

4-2. 農産物等研究専門部会

(2) 今年度の試行体験型まちづくりの主な取り組み（案）

取り組み方針	取り組み事項案（案）
①新規農産物や郷土農産物栽培の推進	1) 農産物の栽培手法の検討・試行（地元と大学の連携） ①地元農業者への大学の研究や取り組みの紹介 ②地域連携による農産物作成への意見交換会
②農産加工品の開発検討	2) 農産加工品開発の検討・試行 ①女性農業者との意見交換や講習会の実施 ②黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）への地元農業者の講師派遣
③農産物等のイベント活用やPRの推進	3) 多様な主体が連携した黒川野菜のPR ①収穫祭での黒川野菜の販売等のPR 

4-3. 地域活性化検討専門部会

(1) 第1回専門部会での主な意見等（7月1日開催）

今年度の主な取り組み（案）に対する主な意見

① 農と里山の認知促進（サイン設置や散策マップの検討等）

- ・ 来訪者の利便性やマナーアップなどを考慮したサインを、和光大学や地元と連携し作成して、期間を限定して試行的に設置したい。（事務局）
- ・ マナーアップの看板は必要だと思うが、子供が農地へ入って遊ぶのは許容してもよい。

② 農と里山の体感（農業体験イベント等）

- ・ 農業体験イベントは、今年度は昨年度より少し作物を増やすなど強化していきたい。（事務局）
- ・ じゃがいもなら、2月に植えて5月下旬に収穫できるので適していると思う。
- ・ 観光農園などでは、さつまいもだけでなく落花生も一緒に体験可能である。







③ 地域資源の発見・創造（里山アートプロジェクトなど）

- ・ 和光大学や地元と連携した新たな取り組みとして里山アート製作を試行したい（事務局）
- ・ モウソウチクがたくさんあるので、竹を活用したアート作品を制作できたら良いと思う。
- ・ アート作品展示とともに昨年度の提案にあった古い農機具の展示もしてはどうか。

その他の 主な意見

- ・ 里山の景観づくりの一環として菜の花等を植えることを検討していきたい。
- ・ 黒川には桜があまりないので、桜の木を植えるのもよいと思う。
- ・ 企業と明治大学と地元が連携した竹炭のシンポジウムの開催を検討していきたい。
- ・ 散策路の充実（セレサモス周辺等）や子供が遊べる水辺づくり（黒川農場前の水路等）も検討してほしい。
- ・ 黒川の奥の方や子どもの遊び場周辺でのトイレの設置も検討してほしい。

（2）今年度の試行体験型まちづくりの主な取り組み（案）

取り組み事項	実施内容（案）
①農と里山の認知促進	<p>1)環境・景観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サインの検討・試行 ②散策マップの検討 ③里山景観づくりの検討（菜の花等） ④環境整備の検討（散策路や遊べる水辺づくり）   <p>2)HP等による取り組み紹介とイベントPR</p>
②農と里山の体感	<p>3)農業体験イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①トマト＆ブルーベリー収穫体験（H27.8.1） ②さつまいも＆落花生収穫体験（H27.10～11） ③じゃがいも収穫体験の検討（H28.5） <p>4)里山体験イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①グリーンツーリズムの実施（H27.10～11） ②炭焼き体験・シンポジウムの検討（H28.2）  
③地域資源の発見・創造	<p>5)地域資源を活用した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①店舗協力によるスイーツレシピづくり ②地域資源を活用した里山アート製作と展示 ③昔の農機具の展示・体験の検討（H27.10～11）  

4-4. 里地里山保全利活用専門部会

（1）第1回専門部会での主な意見等（7月17日開催）

今年度の主な取り組み（案）に対する主な意見

①里地里山の体験・利活用（里山体験ツアー等）

- ・今年度の里山体験ツアーは、黒川地域内をめぐるコースで実施を予定している。（事務局）
- ・昨年度と同様に工作をする場合、参加者の子供の数を増やしたいなら、工作の指導者も必要となる。地区の子供会と連携し、中学生くらいの子に事前に勉強会などを開いてやり方を教えて、大きい子供が小さい子供に指導するというやり方で今年度は実施したら良いと思う。
- ・工作では、竹を活用して、竹行燈を作って、汁守神社の参道に設置してみてもどうか。

②里地里山の保全管理（里山保全活動体験等）

- ・学生に笹刈りをやらせてみたら、達成感が得られて楽しいという反応があった。里山の保全活動として、笹を刈ることも考えてみてはどうか。
- ・黒川地区に市民ボランティアを入れるのも必要だと思うが、場所を限定せず活動してもらえると良いと思う。まずは埋もれている散策路をきれいにするのもよい。


③その他（地域活性化検討専門部会との連携の取り組み）

- ・農業用倉庫の前にあるサインがシンプルすぎてわかりにくいので、もっと初めて来た人にもわかりやすいサインが必要だと思う。
- ・黒川地区のみのマップを作成し、そのマップを駅やセレサモスに置いても良いと思う。
- ・里山アートでは、竹を活用した大きな造形物などがあると面白いのではないかと。

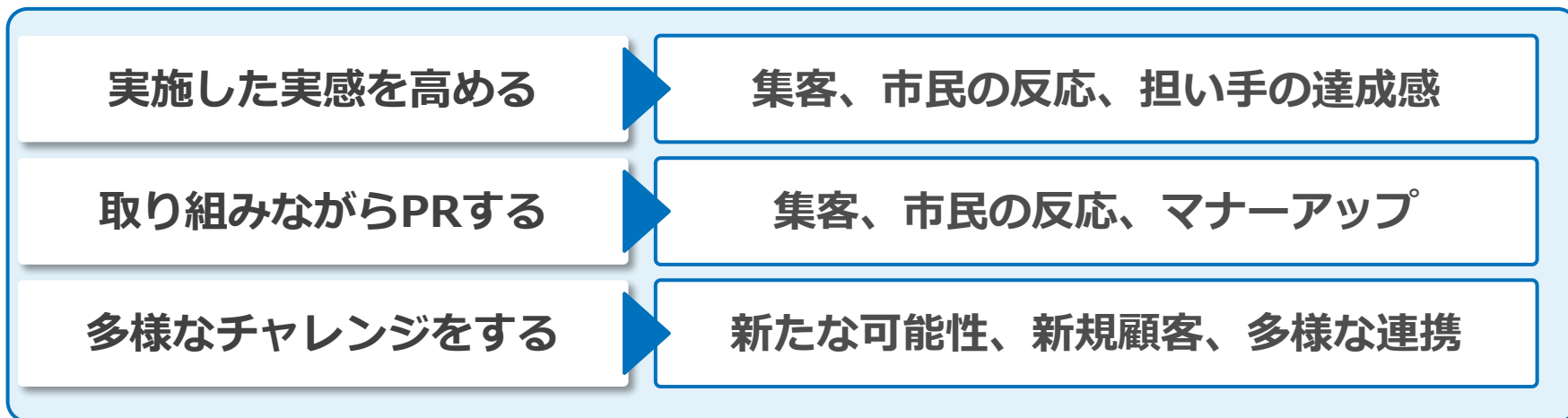
その他の主な意見

- ・黒川農場から黒川駅の間に、気軽に立ち寄れるカフェなどがほしい。

4-4. 里地里山保全利活用専門部会 (1) 今年度の主な取り組み（概要）

取り組み事項	実施内容（案）
① 里地里山の体験・利活用	<p>1) 里山体験イベント</p> <p>① 里山体験ツアー（H27.11.7）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>〈参考〉昨年度の内容</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>黒川谷ツ公園 自然観察</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>黒川よこみね 緑地保全活動の紹介</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> <p>黒川海道 里山の材料を使った工作</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>今年度の内容（案）</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>黒川海道 特別緑地保全地区 里山の材料を使った工作</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>黒川広町 特別緑地保全地区 里山アート作品の鑑賞</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px;"> <p>黒川農場 農場見学</p> </div> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>竹細工の工作を検討</p> </div>
② 里地里山の保全管理	<p>② 里山保全活動体験（H27.秋以降）</p>
その他 (地域活性化検討専門部会との連携協力)	<p>2) サイン設置や散策マップ作成への協力</p> <p>3) 地域資源を活用した取り組みへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を活用した里山アート製作と展示

4-5. 効果的な実施に向けて

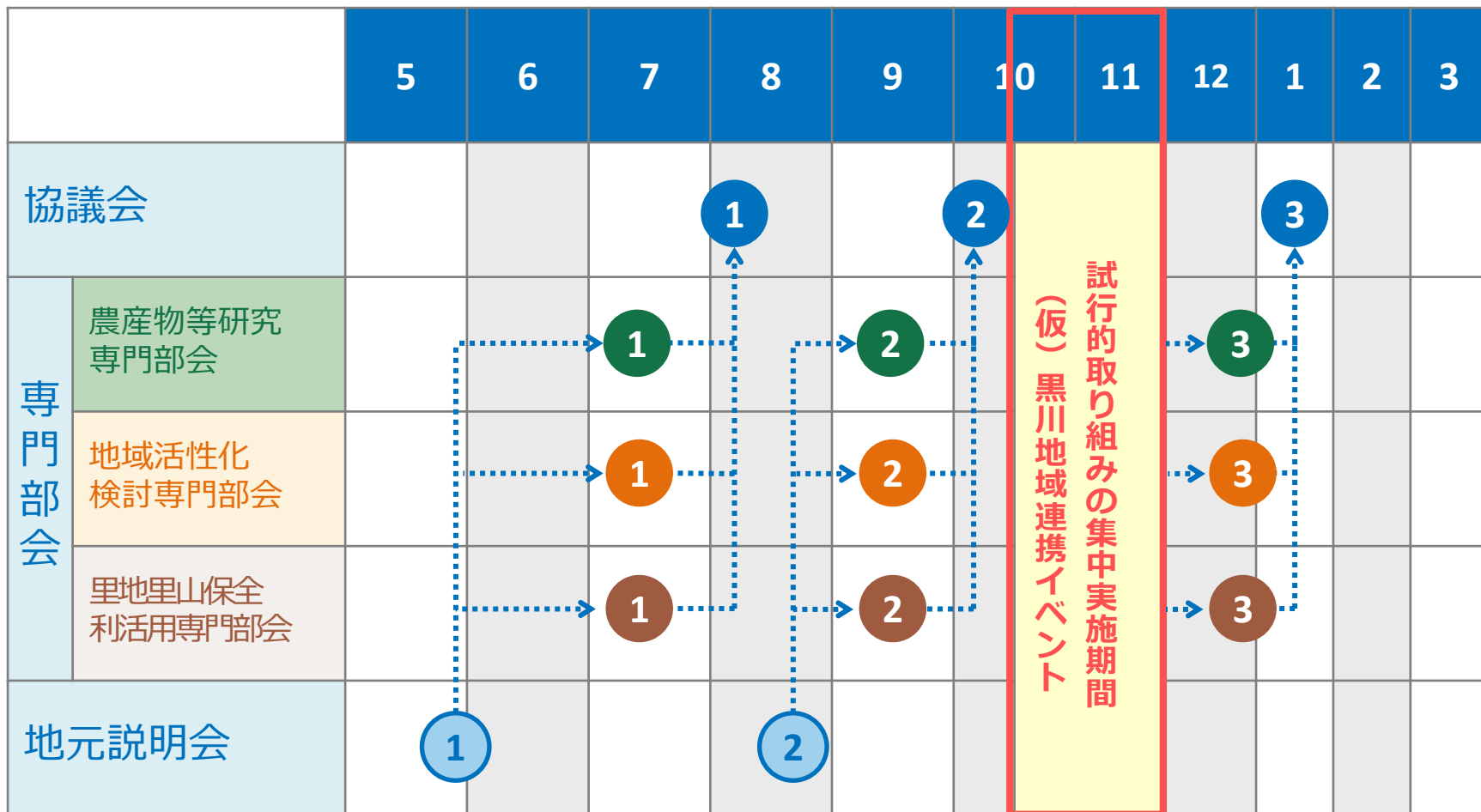


試行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、
地域が一体となって、地域に根付く文化を育んでいける
黒川地区 農と環境を生かしたまちづくり 実施計画の策定へ

5. 今後の予定

- 5-1. 今年度（H27）の取り組みの流れ（案）..... 38
- 5-2. 中長期的なスケジュール（案）..... 39

5-1. 今年度（H27）の取り組みの流れ（案）



※収穫祭：11/7（土）
農業まつり：11/14（予定）

5-2. 中長期的スケジュール（案）

